

わたしの自慢、日本一

夏の最高気温、納豆の消費量、都道府県魅力度など、何かと話題に上ることが多い地域別の「日本一」。しかしこの国にはまだまだ、地元の人でも“へ〜”と驚く「日本一」がいろいろとあります。明日から自慢したくなる、ユニークな各地域の日本一をお届けします。



和歌山県和歌山市 ケチャップの購入量

和歌山県和歌山市の「ケチャップの購入量」は「1,960g」と、全国平均「1,570g」と比べても「ケチャップ愛」にあふれています。



すっぱい物が好き!?

和歌山では昔から、酸味が強い食べ物親しまれてきたという説が挙げられます。ミカンや梅といった酸味のある果物の産地であり、また、「押しずし」や「なれずし」など酢飯を使った郷土料理が多いことも特徴です。さらに、地元企業としてケチャップメーカーが工場を構えているのもあり、ケチャップが愛される要因になっているのかもしれませんが。

出典：総務省「家計調査結果(二人以上の世帯：平成28～30年平均1世帯当たり年間支出金額及び購入数量)」、ニュース和歌山株式会社「ケチャップ購入量日本一の怪」

石川県金沢市 アイスクリームの支出金額

石川県金沢市の「アイスクリーム・シャーベットの年間支出金額(都市別)」は「11,537円」でトップ。全国平均「9,473円」の約1.2倍となっています。



「気候と嗜好」が関係!?

アイスクリームは気温が22～23℃を超えると売れるそうです。ちなみに暑すぎると、かき氷が売れるとのこと。金沢市の夏の平均気温は26～27℃と暑すぎず、ちょうどアイスクリームがおいしく感じられる気温といえるでしょう。また、同市は和洋を問わず甘い菓子の消費も多く、“甘いもの好きな市民性”もアイスクリームの消費量につながっているようです。

出典：総務省「アイスクリーム・シャーベットの支出」[アイスクリーム・シャーベットの1世帯当たり年間支出金額の都道府県庁所在地及び政令指定都市別ランケン(2017年～2019年平均)]、一般社団法人日本アイスクリーム協会ほか「金沢アイスクリーム調査報告書」、「アイスクリームをおいしく食べられる気温は?」

静岡県 朝ごはんを食べる時間が早い

静岡県の「平均朝食開始時刻」は「6時55分」で全国1位。全国平均「7時7分」に比べ12分早くなっています。



「朝ラーメン」の文化が関係!?

お茶の産地として全国的に有名な静岡県。市場でのお茶取引で早朝から仕事をやる人が多く、仕事を終えた茶業関係者がおなかを満たすために、早朝から「ラーメン」を食べる文化がありました。その文化が、朝ごはんが早い理由のひとつとして関係しているのかもしれませんが。

出典：総務省「社会生活基本調査(2016年)」、静岡県公式ホームページ ふじのくに「日本一早い朝食開始時刻」、藤枝市役所 商業観光課 藤枝トリップなぜ朝ラーメン?」

